

# 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

富加町教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

※本調査の結果は、児童生徒の学力の特定の一部を示すものであって、児童生徒の学力の全体を判断するものではありません。

### (2) 調査の対象学校・対象学年 富加町内の公立小学校（第6学年）

### (3) 調査内容

#### ①教科に関する調査【国語、算数・数学】

知識・活用を一体的に問う問題形式による

#### ②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

### (4) 調査日 平成31年4月18日（木）

## 2 教科に関する調査結果の分析

### 小学校

☆良い結果であったこと

#### 【国語】

- ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。

#### 【算数】

- ・台形を理解している。
- ・棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。
- ・加法と乗法の混同した整数と小数の計算をすることができる。
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。
- ・示された計算の仕方を理解し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。

★課題と考えられること

#### 【国語】

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。

#### 【算数】

- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。
- ・示された除法の式の意味を理解している。
- ・目的に適した、伴って変わる二つの数量を見出すことができる。
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

### 3 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

#### ☆良い結果であったこと

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・学校のきまりを守っている
- ・国語や算数の学習が大切だと思う
- ・いじめは、どんなことがあってもいけないことだ
- ・今住んでいる地域の行事に参加している

#### ★課題と考えられること

- ・毎日、同じくらいの時間に寝たり、起きたりしている
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をします
- ・自分には、よいところがあると思う
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・一日当たりの読書時間
- ・新聞を読む

### 4 今後の取組

- ・ICTを活用して、新出漢字の指導を行います。
- ・「課題→考え・調べたことなど、友達の見解など本時の学習→本時のまとめ」という学習の足跡が分かり、ひとりひとりの思考が整理できるノートづくりを指導します。
- ・児童が意欲的に授業に取り組めるように、課題づくりや学習形態を工夫します。
- ・机列表などを活用し、「これまでの学習内容が身に付いているか」「本時の授業が適切に進められているか」「本時の学習内容が身に付いたか」ひとりひとりを見届けます。
- ・理解を深め、新しい学びや次の学習への意欲につながるように、児童同士が自分の考えとその根拠を伝え合う活動を取り入れ、対話的な学習を進めます。
- ・図書に親しみ、知識理解を広げ深めるために、教科の学習で図書館や図書を利用します。本の活用の仕方や新聞の読み方を指導します。
- ・家庭学習の手引き等を活用し、児童に家庭学習の意義や取り組み方について指導すると共に、懇談会や家庭教育学級等の場を通して、保護者にも啓発をします。